

令和5年3月15日開催

裁判員等経験者の意見交換会 開催概要

旭川地方裁判所では、令和5年3月15日(水)に裁判員等経験者の意見交換会を開催しました。

意見交換会では、裁判員経験者3名、補充裁判員経験者1名に参加していただき、裁判員裁判に参加してのご感想などを語っていただきました。

貴重なご意見をいただきましたので、一部を皆様にご紹介します。

また、意見交換会を旭川南高等学校2年生6名が傍聴しました。裁判員等経験者の話を聞いた生徒の皆さんの感想等もご紹介します。



裁判員裁判に参加しての感想

○裁判員等選任手続期日のお知らせを受け取ったときは、驚きと不安でいっぱいだったが、質問票には難しい項目はなく、スムーズに記載して返送することができた。

○公判の場所に行っただけでかなり緊張したが、冒頭陳述で検察官からわかりやすい説明があり、聞き取りやすい声量やスピードだったため、聞いているうちに緊張がとけてきて事件がスムーズに頭に入ってきた。

○論告と弁論がそれぞれ説得力があり、評議前は判断が難しかった。

○論告などある程度長くなったとしても、わかりやすく丁寧な説明であることが大切だと思う。

○評議では自分の意見も積極的に言えた。過去の判例を見て同じような事案との公平性を考えるところに難しさがあった。

○評議に入る前に裁判官の自己紹介があり、話しやすい雰囲気になった。裁判長がわかりやすく評議を整理してくれたり、発言しやすいように配慮してくれ、疑問に思ったことや自分の考えを発言できた。

○評議では活発に議論がなされ、裁判長からも裁判の流れなど十分な説明があったので、冷静になって話を進めることができた。

○裁判に参加したことで、裁判員裁判の手続は事実をしっかりと確認し、証拠に基づき公正に行われており、信頼できる制度だと感じた。





今後参加する方へのメッセージ

○裁判は無縁の世界だと思っていたので、最初は裁判員に選ばれて驚いた。人の人生を左右することなので最初は怖かったが、めったに経験できないことなのでやって良かったと思った。今後参加する方は良い経験になるため可能であれば参加してもらいたい。

○選ばれると最初は誰もが不安になると思うが、専門的な知識がなくても十分に安心して参加できる制度だと思っている。わからないことはどんどん質問して、思ったことは心に留めずに言葉にすることで有意義な時間になると思う。人の人生を左右する裁判は緊張するが、だからこそ慎重に丁寧に行って十分に評議すれば、その結果は自信が持てると思う。

○もし、もう一度裁判員に選ばれたら参加したいと思うが、私が2度経験するよりも、他のより多くの人に私が得られた経験をしてもらいたい。

高校生からの質問と回答

裁判員のやりがいとはどんなものですか。

○やりがいはあると思う。裁判を通し人を思う心も生まれ、人間的に見方が違ってくるのではないかな。

○自分一人の意見だと一パターンしかないと思うが、評議をすることでいろんな人の意見を聞くことがとても勉強になったので、そこがやりがいだなと感じた。

量刑を決めるときに色々な意見を出しますが、その時どんな気持ちになりましたか。

○徹底的に話し合った結果出てきた量刑なので、これが妥当だという気持ちだった。

○評議の前は量刑を決めるのは重たい気持ちだったが、しっかり皆と話し合った評議の後だとこの量刑でいいんだと思った。また、重たい気持ちも話し合いをすることで軽くなると思った。

意見交換会を傍聴した高校生の感想

○裁判員等経験者の色々な話を聞いて良かった。自分には関係ないと思っていたが、裁判員等経験者の話を聞いて考えが変わった。もし選ばれたら参加してみたいと思った。

○自分も裁判員となって意見を出してみたいと思った。

○怖いと思っていたが、裁判員等経験者の話を聞いて機会があったらやってみたいと思った。

○初対面の人が集まって評議をするのは大変なんだろうと思っていたが、裁判員等経験者の話を聞いて短時間でも話すことができるんだと思い、裁判員をやってみたいと思った。



ご参加いただいた皆さま
貴重なご意見をありがとうございました。